

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
E142H018	天文学 (Astronomy)						対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択	2	3	教育学部	後期	木4	日本語		単独					
担当教員	氏名 小西 美穂子 E-mail mkonishi@oita-u.ac.jp 内線 7336												
授業の概要	天文学の基礎的内容として、我々の住む地球を代表した惑星、太陽をはじめとした恒星、それらの外に広がる銀河宇宙などについて学習する。科学的な視点で、天文学の基本的な物理現象を説明できるように理解を深める。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	
目標1	地球を取り巻く環境として、宇宙に存在する天体の多様性が説明できる												
目標2	宇宙の構造をさまざまなスケールで比較できる												
目標3	科学的な見方や考え方を養う上で、自然を総合的に関連づけられる												
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)						9	1						
授業の内容													
1	天文学概要と観測手法												
2	天文学の歩み												
3	地球と月												
4	太陽と太陽系惑星の性質												
5	惑星の運動												
6	小惑星と隕石												
7	太陽系の形成												
8	前半のまとめと中間試験												
9	恒星の性質：距離、等級、光度、表面温度												
10	恒星の進化：星の誕生から恒星の最期まで												
11	様々な天体の性質												
12	天の川銀河												
13	銀河の分類と特徴												
14	現代の宇宙論												
15	元素の合成と輪廻												
ラーニング	A:知識の定着・確認	講義中に小テストや演習などで、その回のテーマに関する知識の定着を確認する。					工	そ	Moodleを使用する。				
	B:意見の表現・交換						夫	の					
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	テキストや資料による予習(1.5h/回)											
	事後学修	小テストなどによる復習(1.5h/回)											
	想定時間合計												
教科書	教科書は指定はしない。また、授業に使用する資料はMoodle上に公開する。												
参考書	基礎からわかる天文学, 半田利弘 著, 誠文堂新光社, 2011年, ISBN: 978-4-416-21132-8 宇宙地球科学, 佐藤文衛・綱川秀夫 著, 講談社, 2018年, ISBN: 978-4-06-155242-5 宇宙科学入門(第二版), 尾崎洋二 著, 東京大学出版会, 2010年, ISBN: 978-4-13-062719-1												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	小テスト(毎回)	30%										
	定期試験	70%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											